

ボランティアだより岸和田

地域のイベント・ボランティア情報が満載



ポポポ
岸和田市協
イメージ
キャラクター

発行所

岸和田市ボランティアセンター
〒596-0076
岸和田市野田町 1-5-5
opsol 福祉総合センター 2階
☎ 072(430)3366
FAX 072(431)1500
e-mail
vc@Kishiwadashisyakyo.onmicrosoft.com

編集

ボランティア情報紙編集委員会

拝啓 市民のみなさま

ボランティアセンターからのお知らせ

ボランティアだよりを手にとっていただきありがとうございます。

この文章をお読みいただいている方は、「ボランティアってなんだろう」「ボランティアに興味がある」と関心をお持ちだと思います。

「ボランティアをやってみたいけど、どうやったらいいの?」「ひとりでもはじめられるの?」といった疑問やお気持ちに寄り添いながら、ボランティア活動を推進しているのが、岸和田市ボランティアセンターです。

みなさまと一緒に岸和田市民が気持ちよく笑いあえる街づくりをしていきます。

ボランティアセンターではこんなことをしています

- ① あなたの希望に沿ったボランティアを紹介します。
- ② ボランティアに来てほしい方々にボランティアを紹介します。
- ③ 企業や団体などの社会貢献のお手伝いをします。
- ④ 情報誌の発行や YouTube など情報発信しています。
- ⑤ 分野を超えた人と人・団体との連携を支援します。
- ⑥ ボランティア保険の加入窓口です。

マークがついている事業は赤い羽根共同募金を活用しています。

要約筆記ボランティア養成講座(PC編)

聴覚に障害がある方へ、パソコンを使った情報を届ける方法を学びませんか?

たくさんの人々が集まる会議や研修へ参加することに聴覚に障害があることで諦めてしまう方がいます。そのような方が様々な活動に参加するために、話した言葉を文字にして情報を届ける要約筆記があります。パソコンを使った要約筆記ボランティアとして、あなたの技術を活かしませんか。

日時：6月29日(土)、7月6日(土) 13時~16時
場所：opsol福祉総合センター 2階 研修室2
定員：8人(先着順)
対象：15歳以上でパソコンが使える人(ワード・エクセルの簡単な操作ができる程度)
申込・問合せ先：社協(地域福祉係)072-437-8854
申込締切：6月21日(金)

「いざ」というときのための備え

ボランティア保険のご案内

◎ボランティア活動保険

補償の種類	国内で活動中に、 ①ボランティア自身がケガをした際の傷害補償 ②他の人の身体や財物に損害を与え、ボランティアが法律上の損害賠償責任を負った場合の賠償責任補償
加入できるのは	ボランティア活動を行うことを目的としている団体(自治会・老人会などは一部の活動のみ対象となります。) プランごとに補償内容が異なります。
保険料(1人あたり)	Aプラン 300円 Bプラン 500円 Cプラン 600円
保険有効期間	4月1日から翌年3月31日まで (中途加入の場合は受付日の翌日から。)
加入手続き	■社協に備え付けの「加入申込書」をご記入の上、保険料とともにご提出ください。 ■名簿を別紙添付される場合は、必ず2部ご用意ください。

◎ボランティア・市民活動行事保険

補償の種類	行事開催中に、 ①参加者やボランティアがケガをした際の傷害補償 ②参加者または第三者の身体や財物に損害を与え、主催者が法律上の損害賠償責任を負った場合の賠償責任補償
加入できるのは	ボランティア団体・各種市民活動団体(自治会・老人会・子ども会なども含まれます。)
保険料(1人あたり)	行事内容により区分が異なります。また、宿泊を除いて、最低20人分の保険料が必要です。 A区分 30円 B区分 134円 C区分 262円
保険有効期間	行事期間中 (開催日前日までに申し込みが必要です。)
加入手続き	■社協に備え付けの「加入申込書」をご記入の上、保険料とともにご提出ください。 ■名簿を別紙添付される場合は、必ず2部ご用意ください。

補償内容などの詳細はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.syakyo.or.jp/vc-hoken.html>

Vフェス実行委員募集

昨年8月に初めて開催しましたボランティアフェスティバルin岸和田を今年度も開催します。

ボランティア・市民活動をしている方々が実行委員会を結成し企画運営をしています。実行委員の一員になって一緒に盛り上がるイベント企画をしませんか。学生さん大歓迎、学びの機会にいかがでしょうか。



(問合せ)
社協(ボランティアセンター)
TEL: 072-430-3366
Mail: vc@Kishiwadashisyakyo.onmicrosoft.com

子どもの居場所ボランティア募集

岸和田市内では、現在27ヶ所の子ども食堂や学習支援を行う子どもの居場所があります。

- ✓ 子どもとふれあうことが好き
- ✓ 料理が好き
- ✓ 勉強を教えてみたい など

いろいろな形で子どもを支えるボランティアを募集しています!



子どもの居場所マップはこちら



興味関心のある方は、下記へお問い合わせください。

(問合せ) 社協(ボランティアセンター)
TEL: 072-430-3366
Mail: vc@Kishiwadashisyakyo.onmicrosoft.com

編集後記

お正月に能登半島地震が起きました。地域が崩壊するような大地震は、この30年間で3回になります。ありえないことが起きると、突き付けられた感じがします。特に今回は道路が寸断され、被災地に物資が届けられない、人がたどり着けないという状態でした。

どれだけの備えをしておけばいいのでしょうか。それでも、普段から連絡をとりあい、話し合い、訓練を重ね、情報をしっかり共有する大切さは変わりありません。継続は力と言いつつも、やらないようです。

(編集委員 川口)

【ボランティアセンターは水・日・祝はお休みとなっております。】

岸和田筆記通訳サークルはばたき 30年記念 体験会

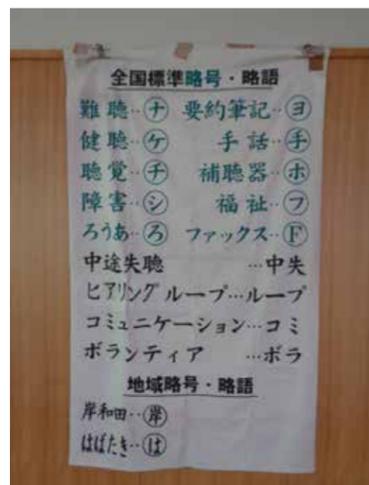
2月24日(土)、結成して30年を迎えたはばたきの記念の体験会が開催されました。すでに退会している人も集まりました。久しぶりに顔を合わせ、結成当時の話も出てきます。懐かしさいっぱい同窓会の雰囲気です。人と人とのつながり、チームワークがあって、はばたきが長く続いてきたように思えました。会の最後には、全員が思いを一言述べました。

文字で伝える要約筆記

講演などで、手話通訳を見ることがあります。実は聴覚障害のある人には、文字を使う方法もあるのです。この会でも、まず開会挨拶が文字になりました。前の画面に言葉が文字で写し出され、同時通訳のようです。

ただ、話すスピードと書くスピードはかなり違います。話をそのまま全部文字にすることはできませんし、読むこともできません。そこで要約筆記となります。

要点を押さえ、省けるところは省き、でも内容は正確に素早く書き、読みやすい文を作ります。つまり、速く、正しく、読みやすきの三つが大切です。今は手書きとパソコンを使った二つの方法があります。これが要約筆記といわれるはばたきの活動の一つです。



素早く筆記するための略号・略語

雑談を楽しむ

個人的にコミュニケーションをとる時は、ノートなどに要点を書いて伝えます。少し書く時間はかかりますが、紙とペンがあれば手軽にどこでもできます。

手話は、新しい言語を学ぶのと同じですから、身につけるのに時間がかかります。その点文字で伝えるのはすぐに誰でも使える方法です。

用事がある時だけ、用件を伝えるだけでは寂しくなります。文字で書いておしゃべりができます。雑談が当たり前に行える日々は豊かな暮らしにつながります。



聞こえる人も聞こえない人も一緒に

はばたきには当事者の方もいて、学校で中途失聴という障害について、体験談を交えて話されます。子どもたちは当事者の話を、正確に受け止めてくれるそうです。大事な将来への種まきです。はばたきが目指すのは、聞こえる人、聞こえない人が一緒に集い共に成長し、よりよい社会参加をすることです。



知っていればどこかで使える

文字を書いて伝えるのはとても有効な手段なのに、要約筆記が知られていないのが残念です。まず知ることです。そうすれば聴覚に障害のある方と交流できます。



手書き要約筆記の様子

パソコンでの要約筆記を体験してみよう

PC要約筆記は、専用ソフトを使用し、お互いに何を入力しているかわかるようになっています。3人1組のチームが話し言葉をすぐに文字に変換していきます。

私はPC要約筆記体験をさせていただきましたが、話し言葉はスピードが早く、文字に変換している間も話は進んでいくので、変換にもたついていると取り残されてしまいます。

チームの皆さんは、絶妙な阿吽の呼吸で言葉をうまく繋いでいけます。PC操作はもちろんのこと、お互いの息が合わないと難しいので、日ごろから会員同士の交流など大切にされているのだろうと推察します。

4面に要約筆記ボランティア養成講座(PC編)の案内があります。



PC要約筆記の様子

(編集委員 川口・尾崎)